

石川県県央土木総合事務所長 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名

担 当 者 氏 名
電 話 番 号
F A X 番 号
電 子 メ ー ル

質 問 書

〇〇〇〇工事について、次のとおり質問します。

質問 番号	設計書や図面の ページや番号等	質 問 内 容
1		
2		
3		

(備考)

1. 質問書用紙はA4版とし、郵送、持参、メール又はFAXにて受け付けます。
また、質問書提出期限は、指名通知書の項目7又は入札公告の3(3)に記載した
日時とします。
2. 質問事項ごとに番号を付けてください。
3. 質問する内容が記載されている設計書や図面等のページ番号、特記仕様書の条項番
号等を記載してください。(例:「指名通知書(項目6)」「設計書(P23)」「数
量計算書(土工)」「図面 No.25」「特記仕様書(6)」等)
4. 回答は、質問提出期限の日の翌日から起算して2日(休日を除く)以内とし、入札
参加者全員に対して、メール、FAX等で情報提供する他、入札情報サービスの所
定の画面にも掲示する。(一般競争入札においては、入札公告で定める期日・方法
による。)

二級河川能瀬川 河川等災害復旧助成工事（設計）業務委託

（町道橋 橋梁予備設計）

特記仕様書

第1条（適用範囲）

本特記仕様書は石川県（以下「発注者」という。）が発注する『二級河川能瀬川 河川等災害復旧助成工事（設計）業務委託（町道橋 橋梁予備設計）』に適用する。

第2条（業務の目的）

本業務は、二級河川能瀬川の河川等災害復旧助成工事により、架替えが必要となった町道橋の橋梁予備設計を行うものである。

第3条（貸与資料）

- ・道路台帳及び橋梁台帳
- ・別途調査した測量及び地質調査結果
- ・その他、発注者が必要と認めた資料

第4条（留意事項）

- ・関連業務と整合を図り、機能性に優れた計画立案を行うこと。
- ・環境面やコスト面を考慮した設計とすること。

第5条（業務内容）

・町道橋 橋梁予備設計業務

1）現地踏査

- ・架橋地点の現地踏査を行い、特記仕様書に基づいた設計範囲及び貸与資料と現地との整合性を目視により確認するものとする。
- ・地形・地質等の自然状況、沿道・交差・用地条件等の周辺条件を把握し、合わせて工事用道路・施工ヤード等の施工性の判断に必要な基礎的な現地状況の把握を行うこと。

2）橋梁予備設計

①設計計画

- ・業務の目的・主旨を把握してうえで特記仕様書に示す業務内容を確認し、業務計画書(照査計画書を含む)を作成する。
- ・道路の幾何学構造、荷重条件等設計施工上の基本的条件並びに地質条件と確認し、設計条件の確認を行うこと。
- ・橋長、支間割りの検討を行い、架橋地点の橋梁としてふさわしい橋梁形式数案について、構造特性、施工性、経済性、維持管理、環境との整合など総合的な観点から技術的特徴、課題を整理し、評価を加えて、調査職員と協議のうえ、橋梁形式比較案3案の選定を行う。
- ・橋梁形式比較案に対して、構造特性・施工性・経済性・維持管理・環境との整合等の事項を標準に技術的検討（基本事項の検討）を行う。

②設計計算

- ・上部工については、主要点の概算応力計算及び概略断面検討を行い、支間割、主桁配置、桁高、主構等決定を行う。
- ・下部工及び基礎工については、震度法により、躯体及び基礎工の形式規模を想定し、概算の応力計算及び安定計算を行う。

④耐力照査（地震時保有水平耐力法）

- ・道路、河川の交差条件等において橋台、橋脚位置を決定するにあたり、躯体の寸法、支間割及び支承条件等は建築限界、河川条件、河積阻害率等と密接に関係するため、諸条件のポイントとなる橋台、橋脚について地震時保有水平耐力法による耐力照査を行うこと。

⑤設計図

- ・橋梁形式比較案のそれぞれに対し、一般図を作成し、道路、河川との関連、建築限界及び河川改修断面図等を記入するほか、土質柱状図の記入を行う。
- ・構造物の基本寸法の表示は主要寸法のみとする。また、既存構造物及び計画等との位置関係がわかる寸法を記入すること。

⑥概算工事費算出

- ・橋梁形式比較案のそれぞれに対し、概算数量を算出し、それを基に概算工事費を算定すること。

⑦照査

- ・基本条件の決定に際し、現地の条件の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行うこと。特に地形、地質条件については、設計の目的に対応した情報が得られているかの確認を行うこと。
- ・一般図を基に橋台位置、径間割り、支承条件及び地盤条件と橋梁形式の整合が適切にとれているかの照査を行う。また、埋設物、支障物件、周辺施設との近接等、施工条件が設計計画に反映されているかの照査を行うこと。
- ・設計方針及び設計手法が適切であるかの照査を行う。
- ・設計計算、設計図、概算工事費の適切性及び整合性に着目し照査を行う。

⑧報告書作成

- ・上述①～⑦についてとりまとめ、報告書の作成を行う。

3) 打合せ協議（関係機関協議）

- ・業務着手時、中間（2回）、成果品納入時、計4回を予定している。なお、業務着手時及び成果品納入時には管理技術者が立ち会うものとする。
- ・その他、適宜必要となる関係機関協議（津幡町）を行うこと。なお、関係機関との協議資料作成及び説明用資料作成は受注者が行うものとする。

第6条（成果品）

成果品の作成及び提出方法は「共通仕様書」によるものとし、十分な照査を実施し、内容の不統一、相互間の矛盾のないものとして必要部数を提出すること。

成果品提出内容は下記の通りとする。

電子データ : 1式

第7条（秘密事項の堅持）

受注者は本業務に関する事項について、機密を厳守し、無断で他に漏らしたり、利用してはならない。

第8条（業務の瑕疵）

受注者は業務委託が完了し、成果品引き渡し後といえども、成果品に誤り等が認められた場合には、速やかに受注者の責任において修正しなければならない。

第9条（業務の終了）

本業務は成果を提出し、検査に合格した時点で完了とする。

石川県土木部業務委託特記仕様書(共通編)

本業務は、本特記仕様書(共通編)および「石川県調査関係共通仕様書」、「用地調査等業務委託共通仕様書」により施行すること。

1 技術者に求める資格

(1) 設計及び解析業務における管理技術者及び照査技術者

共通仕様書第1107条、第1108条で示す資格を有する者とする。なお、本業務が対象とする国土交通省登録技術者資格は、別紙一覧で示すものとする。

(2) 地質・土質調査業務における管理技術者及び照査技術者

共通仕様書第108条、第109条で示す資格を有する者とする。なお、本業務が対象とする国土交通省登録技術者資格は、別紙一覧で示すものとする。

(3) 測量業務における管理技術者

共通仕様書第109条で示す資格を有する者とする。

2 技術者の選任

受注者は、担当技術者、管理技術者を選任し、管理技術者等選任届(以下、「選任届」)を調査職員へ提出すること。

なお、設計及び解析業務、地質・土質調査業務のうち軟弱地盤解析及び弾性波探査業務においては、照査技術者も選任すること。

選任届を提出の際は、資格及び経歴書を別途作成のうえ調査職員に提出すること。ただし、TECRISに登録を行った業務については、資格及び経歴書の添付は不要とする。

3 ウィークリースタンス等の推進

本業務は、建設業の働き方改革を推進するため、受発注者協力のもとウィークリースタンス等に取り組むこととする。なお、業務着手前に受発注者間で下記事項について協議のうえ実施し、就業環境の改善に努めること。

<発注者の取組>

- ・ 受注者からの質問や協議に対する回答については、基本的に「その日のうち」に回答すること。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」に行うこと。
- ・ 「月曜日の朝一番」及び「各コンサルタント会社のノー残業デー翌日の朝一番」を期限とした作業を指示しないこと。
- ・ 「金曜日の業務依頼」や「昼休み・定時間際・定時後の業務依頼や打合せ」は控えること。

<受注者の取組>

- ・ 業務着手前に工程管理方法について綿密に検討のうえ、作業間の関連や業務の進捗状況等を常に把握すること。
- ・ 業務実施中において問題が発生した場合は、作業内容や工程及び発生原因等を整理のうえ、速やかに調査職員と書面で協議すること。

4 建設副産物対策の検討(設計)

設計及び解析業務委託共通仕様書第1209条第9項に基づき作成するリサイクル計画書は、「建設リサイクルガイドライン」(国土交通省)で定める別添1、別添2を用いること。「建設リサイクルガイドライン」は下記を参照すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d11pdf/recyclehou/recycle_rule/gaido.pdf

5 バリアフリーチェック表の提出(設計)

土木部制定「公共施設(土木部所管)のバリアフリー推進施策」に基づくものとし、下記に留意しバリアフリーチェック表を、提出するものとする。

- (1) 「公共施設(土木部所管)のバリアフリー整備方針」を遵守するものとする。
- (2) 「石川県バリアフリー社会の推進に関する条例 施設整備の手引き」を遵守するものとする。
- (3) チェック表は施設(建築物・公園緑地・道路)ごとに作成するものとする。

6 設計業務における生産性向上の検討(設計)

生産性向上に関する提案がある場合、技術者の着眼点・留意点等(当該設計時に生産性向上の観点から一層の検討を行う事項)について、後設計を実施する技術者に適切に情報を引き継ぐため、提案書を作成すること。
また、前設計で提案書が作成されていた場合、適切に提案内容を検討すること。

※参考:「生産性向上チャレンジ工事の試行と取組事例集」(国土交通省)

https://www.mlit.go.jp/tec/tec_tk_000052.html

(1) 概略設計時

当該業務において、最適案として選定された1ケースについて、生産性向上の観点より、形状、構造、使用材料、施工方法等を検討し、予備設計時に検討すべき生産性向上提案を行い、下記、生産性向上提案書を作成し提出するものとする。

生産性向上提案書

概略設計の内容	予備設計時に検討すべき 生産性向上提案及び効果	関連する検討事項 及び問題点

(2) 予備設計時

当該業務において、最適案として選定された1ケースについて、生産性向上の観点より、形状、構造、使用材料、施工方法等を検討し、また、先行する概略設計において、生産性向上提案書がある場合はその内容を十分検討し、詳細設計時に検討すべき生産性向上提案を行い、下記、生産性向上提案書を作成し提出するものとする。

生産性向上提案書

予備設計の内容	概略設計時に検討した 生産性向上提案及び効果 (概略設計がある場合記入)	詳細設計時に検討 すべき生産性向上 提案及び効果	関連する検討事項 及び問題点

(3) 詳細設計時

当該業務において、生産性向上の観点より、形状、構造、使用材料、施工方法等を検討し、また、先行する予備設計において、生産性向上提案書がある場合はその内容を十分検討し、生産性向上に関する提案を行う。

7 石川県建設新技術活用の検討(設計)

概略設計、予備設計、詳細設計の工法等の選定において、必ず「新技術採否の検討」の項目を設け、石川県建設新技術に認定された技術を比較検討し比較検討書を提出するものとする。なお、該当技術がない場合には「該当技術なし」と明記するものとする。登録工法の一覧は、下記を参照すること。

<http://www.pref.ishikawa.jp/giyutsu/singiyutu/list2.html>

8 いしかわ景観総合条例第95条第1項「公共事業景観形成指針」の遵守(設計)

公共事業の詳細設計を行うにあたっては、「公共事業景観形成ガイドライン」に従い設計を行うこと。なお、調査職員と協議の上、ガイドラインで定める重点事業判定票を作成し、重点事業にあたる場合は、ガイドラインで定める整備指針チェックリストを作成し提出すること。

石川県公共事業景観形成ガイドラインは、下記を参照すること。

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/toshi/keikan/koukyoujigyou.html>

9 ボーリングデータの検定

ボーリング調査において、次のボーリングデータを作成した場合は、国土地盤情報センターへ検定を依頼し、成果が検定済みであることを発注者に報告すること。

① ボーリング柱状図(XML形式) ② 土質試験結果一覧表(XML形式)

なお、検定後、国土地盤情報センターから発行される検定証明書は、成果品として納品すること。

10 電子納品

- (1) 本業務は、電子納品対象業務であり、調査、測量、設計などの各業務の最終成果を電子データで納品すること。なお、ここでいう電子データとは、石川県電子納品ガイドライン等で定めるファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。
- (2) 電子納品は以下のとおり実施すること。
 - 1) 表-1に示す成果品内訳をCD-RまたはDVD-R等で2部納品する。
 - 2) 各種電子納品要領等に定めがない事項については、必要に応じて発注者と受注者とが協議して定める。
- (3) 業務着手時には、石川県電子納品ガイドラインで定める「事前協議チェックシート」を用いて事前協議を行うこと。
 入手先: 石川県ホームページ 電子納品
https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kanri/cals-ec/e_delivery.html
- (4) 成果品の納品に際し、以下の事項を事前に確認すること。
 - 1) 電子納品チェックシステムを使用し、エラーがないことを確認する。
 なお、電子納品チェックシステムは、下記より入手し最新バージョンを使用する。
【土木:電子納品チェックシステム】
http://www.cals-ed.go.jp/edc_download/
【建築営繕:電子成果物作成支援・検査システム】
http://www.mlit.go.jp/gobuild/gobuild_cals_sysv3.html
 - 2) 最新のウイルス対策ソフトで、提出物にウイルスが混入していないことを確認する。

表-1 石川県土木部業務委託 成果品内訳一覧

設 計	平面・路線測量	調 査 (例：地質調査)	用地測量
報告書表紙	報告書表紙	報告書表紙	報告書表紙
目次	目次	目次	目次
業務概要	業務概要	業務概要	業務概要
位置図	位置図	位置図	位置図
縮小図面（平面図、標準横断面図等）	縮小図面（平面図等）	縮小図面（柱状図、地質概要図等）	縮小図面（用地実測図等）
・比較表（概略設計等で検討している場合） ・設計条件及び計算結果	・測量成果等（石川県公共測量作業規定に基づき整理） ・精度管理・成果検定結果等	調査結果まとめ	・地籍測量図・公図・住民票等 ・立会確認印付き図面（マイラー原紙）
事前協議チェックシート	事前協議チェックシート	事前協議チェックシート	事前協議チェックシート
打合せ記録簿	打合せ記録簿	打合せ記録簿	打合せ記録簿
照査技術者による設計図書照査審査表 ※1		照査技術者による設計図書照査審査表 ※1	照査技術者による設計図書照査審査表

※1 設計図書に照査の実施の定めがない場合、提出不要

※2 業務の概要の特性から、上記以外で納品する必要がある資料等は、調査職員の指示に従うこと

国土交通省登録資格一覧

別紙

国や地方公共団体等が発注する計画・調査・設計業務、点検・診断等業務において活用できる国土交通省登録資格は次のとおりです。（令和8年2月までに登録された411資格）

● 登録資格を適用できる業務
管理：管理技術者を対象に適用
担当：担当技術者を対象に適用
管理/主任：管理技術者又は主任技術者を対象に適用
管理・照査：管理技術者及び照査技術者を対象に適用
（ ）内の数字は登録番号
各施設分野での並び順は、資格付与事業者名の50音順

部門	施設分野		資格名	資格付与事業者名	計画	調査	設計	点検	診断	計画策定 (維持管理)	設計 (維持管理)	その他
	橋梁 (コンクリート橋)	1	橋梁AM点検士 (道路部門)	公益財団法人 青森県建設技術センター				● 担当 (323)	● 担当 (324)			
		2	四国社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人 愛媛大学				● 担当 (181)	● 担当 (188)			
		3	道路橋点検士	一般財団法人 橋梁調査会				● 担当 (25)				
		4	道路橋点検士補	一般財団法人 橋梁調査会				● 担当 (79)				
		5	RCCM (鋼構造及びコンクリート)	一般社団法人 建設コンサルタント協会				● 担当 (26)	● 担当 (37)			
		6	高速道路点検士 (土木)	公益財団法人 高速道路調査会				● 担当 (220)				
		7	高速道路点検診断士 (土木)	公益財団法人 高速道路調査会				● 担当 (221)	● 担当 (224)			
		8	建造物保全技術者	一般社団法人 国際建造物保全技術協会				● 担当 (222)				
		9	建造物保全上級技術者	一般社団法人 国際建造物保全技術協会					● 担当 (225)			
		10	橋梁点検技術者	独立行政法人 国立高等専門学校機構				● 担当 (183)				
		11	橋梁診断技術者	独立行政法人 国立高等専門学校機構					● 担当 (342)			
		12	都市道路点検診断士	一般財団法人 首都高速道路技術センター				● 担当 (184)	● 担当 (190)			
		13	都市道路点検士	一般財団法人 首都高速道路技術センター				● 担当 (408)				
		14	土木設計技士	職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会				● 担当 (80)				
		15	社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人 東海国立大学機構 (岐阜大学)				● 担当 (78)	● 担当 (85)			
		16	橋梁点検士	国立大学法人 東海国立大学機構 (名古屋大学)				● 担当 (76)				
		17	橋梁診断士	国立大学法人 東海国立大学機構 (名古屋大学)					● 担当 (187)			
		18	上級土木技術者 (橋梁) コースB	公益社団法人 土木学会				● 担当 (31)	● 担当 (39)			
		19	上級土木技術者 (鋼・コンクリート) コースA	公益社団法人 土木学会				● 担当 (178)	● 担当 (185)			
		20	上級土木技術者 (鋼・コンクリート) コースB	公益社団法人 土木学会				● 担当 (180)	● 担当 (186)			
		21	上級土木技術者 (メンテナンス) コースA	公益社団法人 土木学会				● 担当 (339)	● 担当 (343)			
		22	1級土木技術者 (橋梁) コースB	公益社団法人 土木学会				● 担当 (32)				
		23	1級土木技術者 (鋼・コンクリート) コースA	公益社団法人 土木学会				● 担当 (179)				
		24	1級土木技術者 (鋼・コンクリート) コースB	公益社団法人 土木学会				● 担当 (223)				
		25	1級土木技術者 (メンテナンス) コースA	公益社団法人 土木学会				● 担当 (340)				
		26	道守コース	国立大学法人 長崎大学				● 担当 (35)	● 担当 (41)			
		27	特定道守コース	国立大学法人 長崎大学				● 担当 (34)				
		28	特定道守 (コンクリート構造) コース	国立大学法人 長崎大学					● 担当 (40)			
		29	道守補コース	国立大学法人 長崎大学				● 担当 (36)				
		30	土木鋼構造診断士	一般社団法人 日本鋼構造協会				● 担当 (259)	● 担当 (262)			
		31	土木鋼構造診断士補	一般社団法人 日本鋼構造協会				● 担当 (260)				
		32	一級構造物診断士	一般社団法人 日本構造物診断技術協会				● 担当 (27)	● 担当 (81)			
		33	二級構造物診断士	一般社団法人 日本構造物診断技術協会				● 担当 (28)				

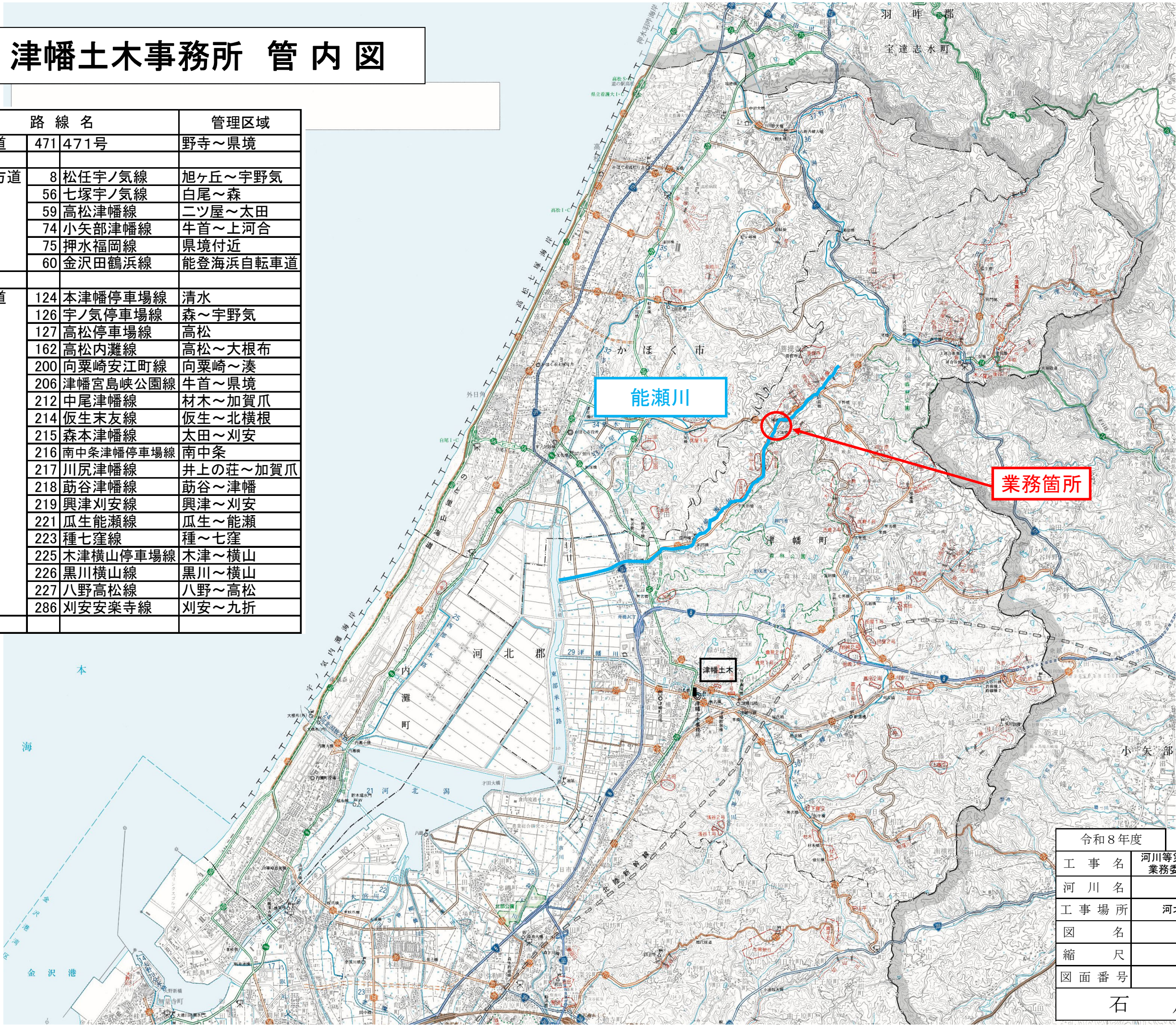
		34	コンクリート診断士	公益社団法人 日本コンクリート工学会				● 担当(33)	● 担当(82)				
		35	インフラ調査士 橋梁(コンクリート橋)	一般社団法人 日本非破壊検査工業会				● 担当(77)					
		36	主任点検診断士	一般財団法人 阪神高速先進技術研究所				● 担当(74)	● 担当(83)				
		37	点検診断士	一般財団法人 阪神高速先進技術研究所				● 担当(75)	● 担当(84)				
		38	ふくしまME (基礎)	ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会審査委員会				● 担当(256)					
		39	ふくしまME (保全)	ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会審査委員会				● 担当(291)	● 担当(292)				
		40	コンクリート構造診断士	公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会				● 担当(29)	● 担当(31)				
		41	プレストレストコンクリート技士	公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会				● 担当(30)					
		42	木橋・総合診断士	一般社団法人 木橋技術協会				● 担当(341)	● 担当(344)				
		43	社会基盤メンテナンスエキスパート山口	国立大学法人 山口大学				● 担当(182)	● 担当(189)				
		44	建造物の補修・補強技士	一般社団法人 リベア会				● 担当(257)	● 担当(261)				
		45	ブリッジインスペクター	琉球大学工学部附属地域創生研究センター				● 担当(258)					
道路	道路	1	R C C M (道路)	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会	● 管理・照査(139)								
	道路	2	交通工学研究会認定TOE	一般社団法人 交通工学研究会	● 管理・照査(141)								
	道路	3	上級土木技術者 (交通) コース A	公益社団法人 土木学会	● 管理・照査(140)								
	道路	4	上級土木技術者 (交通) コース B	公益社団法人 土木学会	● 管理・照査(208)								
	道路	5	1 級土木技術者 (交通) コース A	公益社団法人 土木学会	● 管理・照査(207)								
	道路	6	1 級土木技術者 (交通) コース B	公益社団法人 土木学会	● 管理・照査(209)								
	橋梁	1	R C C M (鋼構造及びコンクリート)	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会	● 管理・照査(142)								
	橋梁	2	R C C M (土質及び基礎)	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会	● 管理・照査(143)								
	橋梁	3	建造物保全監理士(橋梁)	一般社団法人 国際建造物保全技術協会	● 管理・照査(365)								
	橋梁	4	上級土木技術者 (橋梁) コース B	公益社団法人 土木学会	● 管理・照査(144)								
	橋梁	5	1 級土木技術者 (橋梁) コース B	公益社団法人 土木学会	● 管理・照査(210)								

数量表（町道橋）

項目	細別	数量	単位	備考
直接原価				
橋梁予備設計				
（共通）				
	関係機関との協議資料作成	1	業務	以下1機関想定 津幡町
	現地踏査	1	業務	
	打合せ（中間2回、関係機関1 機関）	1	業務	
	関係機関打合せ協議	1	業務	
橋梁予備設計				
橋梁予備設計	L=14.0m	1	式	

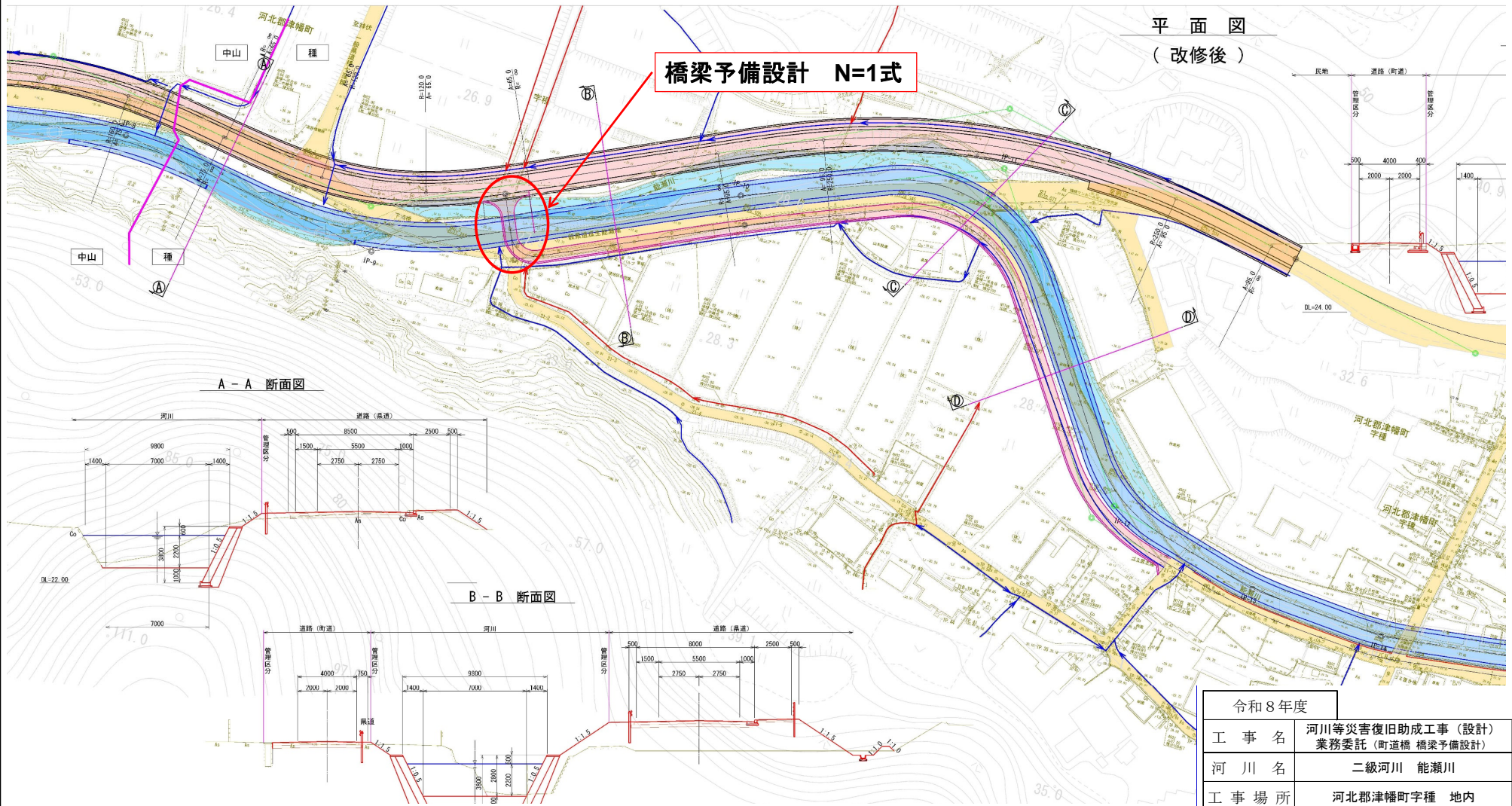
津幡土木事務所 管内図

路線名			管理区域
一般国道	471	471号	野寺～県境
主要地方道	8	松任宇ノ気線	旭ヶ丘～宇野気
	56	七塚宇ノ気線	白尾～森
	59	高松津幡線	二ツ屋～太田
	74	小矢部津幡線	牛首～上河合
	75	押水福岡線	県境付近
	60	金沢田鶴浜線	能登海浜自転車道
一般県道	124	本津幡停車場線	清水
	126	宇ノ気停車場線	森～宇野気
	127	高松停車場線	高松
	162	高松内灘線	高松～大根布
	200	向粟崎安江町線	向粟崎～湊
	206	津幡宮島峡公園線	牛首～県境
	212	中尾津幡線	材木～加賀爪
	214	仮生末友線	仮生～北横根
	215	森本津幡線	太田～刈安
	216	南中条津幡停車場線	南中条
	217	川尻津幡線	井上の荘～加賀爪
	218	筋谷津幡線	筋谷～津幡
	219	興津刈安線	興津～刈安
	221	瓜生能瀬線	瓜生～能瀬
	223	種七窪線	種～七窪
	225	木津横山停車場線	木津～横山
	226	黒川横山線	黒川～横山
	227	八野高松線	八野～高松
	286	刈安安楽寺線	刈安～九折



令和8年度	
工事名	河川等災害復旧助成工事（設計） 業務委託（町道橋 橋梁予備設計）
河川名	二級河川 能瀬川
工事場所	河北郡津幡町字種 地内
図名	位置図
縮尺	
図面番号	
石川県	

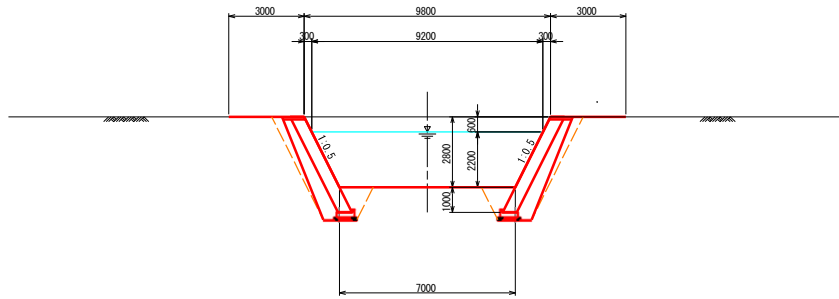
平面図



令和8年度	
工事名	河川等災害復旧助成工事（設計） 業務委託（町道橋 橋梁予備設計）
河川名	二級河川 能瀬川
工事場所	河北郡津幡町字種 地内
図名	一般図
縮尺	
図面番号	
石川県	

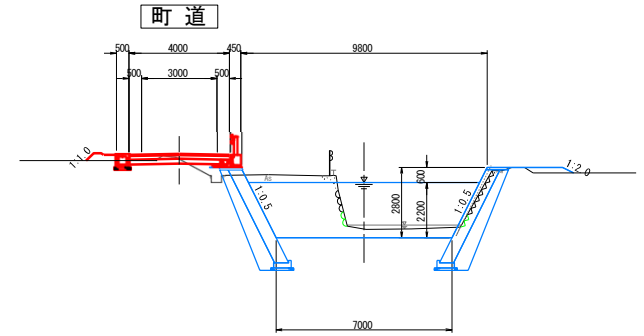
橋梁一般図

河川改修標準横断面図 S=1:200 (A3)

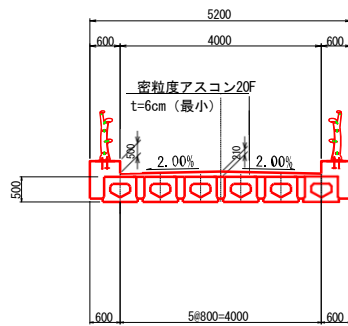


DL=23.00

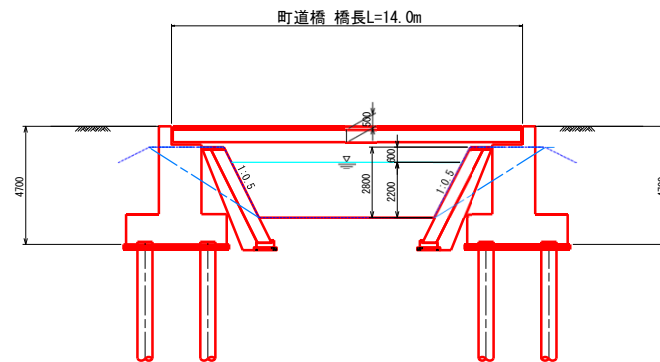
町道標準横断面図 S=1:200 (A3)



町道橋断面図 S=1:100 (A3)



町道橋側面図 S=1:200 (A3)



令和 8 年度

工 事 名	河川等災害復旧助成工事（設計） 業務委託（町道橋 橋梁予備設計）
河 川 名	二級河川 能瀬川
工 事 場 所	河北郡津幡町字種 地内
図 名	一般図
縮 尺	
図 面 番 号	

石 川 県